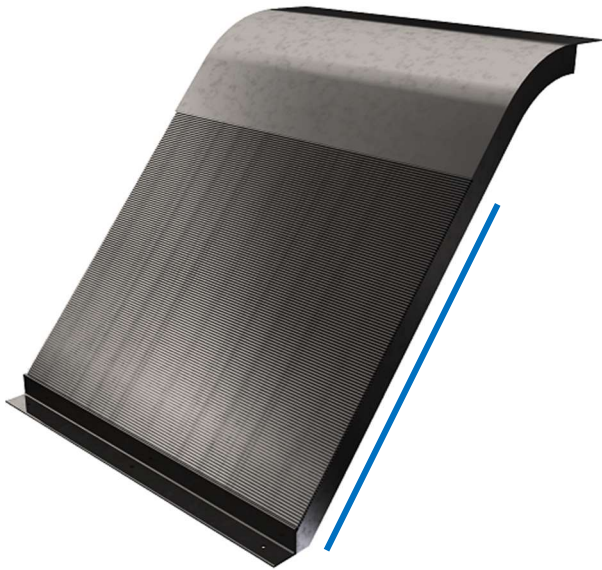


コアンダスクリーンには A, B, C 型がありました。

A



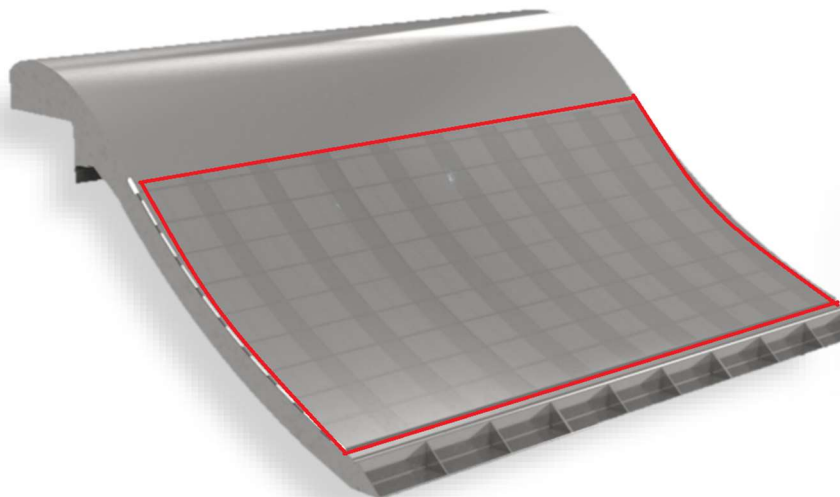
岩石等の攻撃で、スクリーンの直線性が失われた場合、全体を交換するモデルで、エルジン社の標準品です。

B



スクリーンが、岩石等の攻撃で直線性が失われた場合スクリーン部のみ(赤四角エリア)のみ交換できるタイプです。環境が洪水などで頻繁に変化する恐れの場合、経済的と言えるタイプです。

C



スクリーンに緩やかなカーブを設けた大容量取水用で、主に水道局で利用されてきました。万が一事故発時、赤枠でのスクリーン部のみ交換できるタイプです。基本的に今後は A 型か C 型で B 型は中止されます。マイクロ水力取水用には A 型のみで、水道局など数トン取水には C 型が歴史的に採用されています。